

令和 4 年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

令 和 4 年 4 月

山 口 県 教 育 委 員 会

目 次

ページ

○ 令和4年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科の結果について	
国語	2
社会	4
数学	6
理科	8
英語	10

令和4年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

令和4年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領(平成29年告示)に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 学習の到達の状況を把握するため、総合的に学力をみることができるよう、基礎的・基本的な内容と応用的な内容について均衡を図って出題した。
- 知識及び技能の習得状況を適切に測る内容を出題するとともに、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を測る内容を重視した問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、おおむね平素の学習の成果が表れていた。
- 表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取る問題については、おおむねできており、学習の成果が表れていたが、読み取った情報を活用して適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と日常生活を関連付けるなど、学ぶことの意義や有用性を実感できるような学習活動の充実を通して、学習に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を養うことが大切である。また、主体的・対話的で深い学びの実現により、知識及び技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することが重要である。

国語

1 出題の特徴

- 国語に関する基礎的・基本的な力をみるとともに、文章の種類を踏まえて、登場人物の心情や筆者の主張、物語や論理の展開の仕方などを適切に捉える力をみる問題を出題した。
- 複数の文章や図表などを結び付けながら適切に内容を解釈し表現する力をみるとともに、国語に関わる知識及び技能を実生活の様々な場面で活用する力をみる問題を出題した。
- 作文の問題について、目的や意図に応じて必要な材料を集め、適切に整理し、自分の考えを分かりやすく伝える力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 登場人物の言動の意味や論理の展開を的確に読み取り、適切に表現する力をみる問題は、いま一步であったが、基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 文章と図表を結び付け、適切に内容を解釈し表現する力をみる問題、国語に関わる知識及び技能を活用する力をみる問題は、図表の内容を条件を踏まえて表現したり、情報の信頼性を確かめたりすることができておらず、いま一步であった。
- 作文については、必要な材料を集めて適切に表現することができていないものがみられ、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

二 〈問題文は、河野哲也「問う方法・考える方法 「探究型の学習」のために」から。ここでは省略。〉

- (五) 「その他者は、できれば自分と違えば違うほどいいでしょう」とあるが、筆者がこのように述べているのはなぜか。文章の内容に即して、八十字以内で説明しなさい。

正答例 対話の相手となる他者が自分と異なった考え方をしているほど、より一層思い込みや古い常識に気づくことができ、それらを排除して根本から深く考えることにつながるから。

【解答の状況】

理由を十分に説明することができていない解答が多く見られ、論理の展開の仕方を的確に読み取ることができていないことが、その原因であると考えられる。

【課題】

論理の展開の仕方に注意して、内容を的確に読み取り、適切に表現すること。

《問題例②》

四 〈令和元年度「国語に関する世論調査」(文化庁)より作成。ここでは省略。〉

【発表原稿の一部】 ※ 一部を抜粋

データ2からは、「十六～十九歳」と「二十代」の認識には共通点と相違点があるということが分かります。隣接する年齢層ではあるものの、調査対象の全年齢層の中で比較すると、相違点として **Ⅱ** ということが挙げられ、そのことがこのグラフから読み取れる大きな特徴となっています。

(二) 【発表原稿の一部】の **Ⅱ** に入る適切な内容を、文脈に即して答えなさい。

正答例 「若者言葉」に乱れを感じている割合は「十六～十九歳」が最も高いのに対し、「二十代」は最も低い

【解答の状況】

【発表原稿の一部】の中にある「調査対象の全年齢層の中で比較すると」という条件を踏まえたり、「相違点」や「大きな特徴」という言葉に合わせて、グラフから読み取った内容を適切に表現することができていない解答が多くみられた。

【課題】

文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 文章の展開に即して内容を正確に理解する力の育成

言語活動を通して、文章全体と部分との関係に注意しつつ、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えたり、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価したりして、根拠を明確にしながらか文章の内容を正確に理解することができるようにするとともに、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈できるようにする。

○ 適切に表現する力、自分の考えを伝える力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認しつつ伝えたいことを明確にし、その内容をわかりやすく伝えられるように文章の構成や表現の仕方を工夫できるようにするとともに、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができるようにする。

○ 言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養う活動の充実

読書によって自分の生き方や社会との関わり方を考えながら言語感覚を豊かにするとともに、日常の言語活動を振り返り、実際に「話す」「聞く」「書く」「読む」場面を学習の中で意識したり、人との関わりの中で伝え合う力を高めたりして、思考力や想像力を養う。

社 会

1 出題の特徴

- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみる問題を出題した。
- 知識及び技能を活用して、多様な資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 複数の資料を用いて、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 知識及び技能を活用して資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 複数の資料を用いて社会的事象等について多面的・多角的に考察する力をみる問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例 《問題例①》

5 (略)

- (1)イ 表 I は、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられてから行われた国政選挙の実施年月について示したものである。表 I 中の (あ) にあてはまる年を答えなさい。また、そのように判断した理由を、日本国憲法の規定にもとづいて、簡潔に述べなさい。

正答例 あ (2019) 年
理由 参議院では、3年ごとに議員の半数を改選するため。

表 I

実施年月	国政選挙
2016年7月	第24回参議院議員通常選挙
2017年10月	第48回衆議院議員総選挙
(あ) 年7月	第25回参議院議員通常選挙
2021年10月	第49回衆議院議員総選挙

(注) 再選挙, 増員選挙, 補欠選挙は含まない。

【解答の状況】

年と理由がともに誤っている解答が多くみられたほか、年は正しく書けているが、理由を「参議院の任期は6年だから」などとする解答がみられた。

【課題】

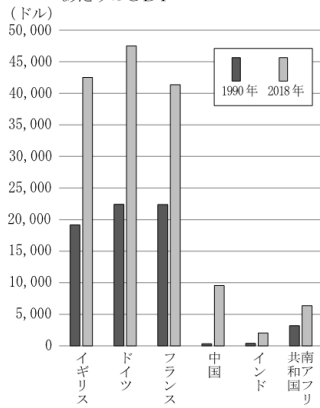
基礎的・基本的な知識の確実な定着を図り、社会における様々な場面で活用できるようにすること。

《問題例②》

6 (略)

(5) 下線部⑤に関連して、図Ⅵから、2018年の世界全体の二酸化炭素排出量は、京都議定書の基準年と比較して増加したことが読み取れる。図Ⅶ、表Ⅰ、表Ⅱから読み取れることを関連付けながら、2018年の世界全体の二酸化炭素排出量が増加した理由として考えられることを、説明しなさい。

図Ⅶ おもな京都議定書締約国の人口1人あたりのGDP



(世界国勢図会 2021/22 などにより作成)

表Ⅰ おもな京都議定書締約国の1990年を基準年とした二酸化炭素排出量の増減率(2018年)

国名	増減率(%)
イギリス	-35.9
ドイツ	-26.0
フランス	-12.4
中国	+356.1
インド	+335.5
南アフリカ共和国	+75.4

(世界国勢図会 2021/22 により作成)

表Ⅱ おもな京都議定書締約国の1990年を基準年とした温室効果ガス排出量の削減目標値(%)

国名	2008年から2012年まで	2013年から2020年まで
イギリス	-8	-20
ドイツ	-8	-20
フランス	-8	-20
中国	目標値なし	
インド	目標値なし	
南アフリカ共和国	目標値なし	

正答例 温室効果ガス排出量の削減目標値が定められていない発展途上国において、二酸化炭素排出量が増加している。

【解答の状況】

資料から読み取った情報を適切に表現することができていない解答や、複数の資料を関連付けて考察することができていない解答が多くみられた。

【課題】

複数の資料から読み取れることを相互に関連付けて考察し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識を社会における様々な場面で活用する力の育成**

基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既習の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、個別の知識の定着を図るとともに、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識として獲得できるようにする。

○ **多様な資料を活用して必要な情報を読み取りまとめる力の育成**

地図、年表、写真、新聞、読み物、統計などの資料に平素から親しむとともに、目的に応じて必要な情報を選んで読み取り、読み取った情報を文章にして論理的に説明するなど、適切にまとめる力を育成する。

○ **社会的な見方・考え方を働かせて主体的に課題を解決する力の育成**

課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する力、課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを適切に表現する力を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 基礎的・基本的な内容について、概念や原理・法則などの理解及び事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の習得の程度をみる問題を出題した。
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力をみる問題を出題した。
- 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

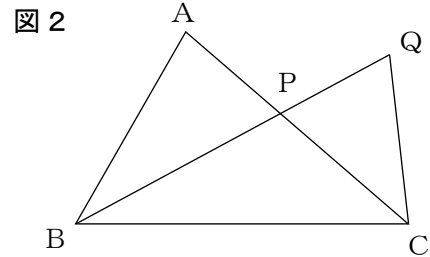
- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 見いだしたことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて論理的に考察する力をみる問題については、いま一步であった。
- 事象を論理的に考えたり、柔軟に思考したりしながら、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題については、十分ではなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

8 (略)

- (2) 図2のような $\triangle ABC$ があり、
 $\angle ABC$ の二等分線と辺 AC の交点を P とする。また、線分 BP の延長上にあり、
 $CP = CQ$ となる点 Q をとる。
このとき、 $BA : BC = AP : CP$ であることを証明しなさい。



正答例

$\triangle BAP$ と $\triangle BCQ$ で、
線分 BQ は $\angle ABC$ の二等分線だから、
 $\angle ABP = \angle CBQ \dots ①$
対頂角は等しいので、
 $\angle APB = \angle CQB \dots ②$
仮定から、 $\triangle CPQ$ は $CP = CQ$ の二等辺三角形だから、
 $\angle QPC = \angle PQC \dots ③$
②、③から、
 $\angle APB = \angle PQC$

よって、
 $\angle APB = \angle CQB \dots ④$
①、④から、2組の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle BAP \sim \triangle BCQ$
相似な図形の対応する辺の比は等しいので、
 $BA : BC = AP : CQ$
 $CP = CQ$ だから、
 $BA : BC = AP : CP$

【解答の状況】

$\triangle BAP \sim \triangle BCQ$ であることを見いだすことができていない解答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を活用し、論理的に筋道を立てて考察すること。

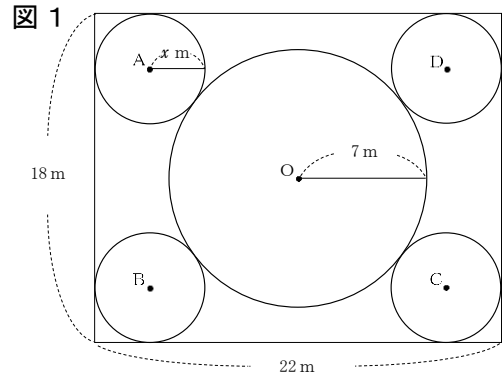
《問題例②》

9 (略)

(2) Tさんのクラスでは、ダンスの隊形について話し合っている。ダンスは運動場に用意された縦18 m、横22 mの長方形の形をした区域の中で踊ることになっている。

図1は、Tさんが考えた隊形を示しており、長方形の対角線の交点を中心とした半径7 mの円Oと、4つの同じ大きさの円A、B、C、Dを表したものである。円A、B、C、Dは、円Oより小さく、長方形のとなり合う2辺と円Oに接している。

円A、B、C、Dの半径を x mとしたとき、 x の値を求めなさい。



【考え方】

右図から、三平方の定理より

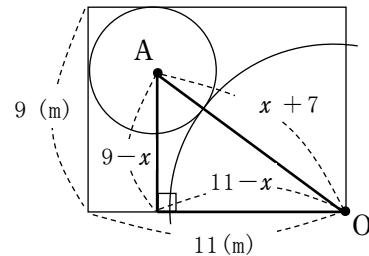
$$(9-x)^2 + (11-x)^2 = (x+7)^2$$

$$x^2 - 18x + 81 + x^2 - 22x + 121 = x^2 + 14x + 49$$

$$x^2 - 54x + 153 = 0$$

$$(x-3)(x-51) = 0$$

$$x = 3, 51 \quad \text{条件より} \quad x = 3$$



正答 $x = 3$

【解答の状況】

長方形の対角線上に円の中心があると捉えた解答が多くみられた。

【課題】

日常生活における事象を数学的な表現を用いて論理的に考察し、図形の性質を見いだし、簡潔・明瞭・的確に表現する力を育成すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解する力の定着

関数を学習する際に、既習事項である比例や反比例、一次関数を取り上げ、それらを比較することで関数の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に取り上げ、基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解する力の定着を図る。

○ 数学を活用して問題解決の過程を論理的に考察する力の育成

根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考えたり、説明し伝え合ったりする活動の充実を図ることで、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を考察する力を育成する。

○ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力の育成

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの必要性や意義を実感できるようにするとともに、柔軟に思考し、数学的に表現する力を育成する。

理科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみる問題を出題した。
- 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 日常生活や社会との関連を重視した科学的に探究する活動を行うことを通して、検証できる仮説を設定する力や仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 検証できる仮説を設定する力をみる問題については、おおむねできていたものの、仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力をみる問題については、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

- (3) LさんとMさんは、次の [] のような会話をした。LさんとMさんの発言が、実験の結果をもとにしたものとなるように、下のア、イに答えなさい。

Lさん： 表1から、音の振動数は、 [あ] の長さによって決まることがわかるね。

(略)

ア [あ] に入る適切な語句を、「試験管」という語を用いて答えなさい。

正答例 水面から試験管の上端まで

【解答の状況】

「試験管の底から水面まで」とするなど、音の振動数が変化する要因は、試験管内の水の部分の長さではなく、試験管内の空気の部分の長さの変化によるという規則性を見いだすことができていない解答が多くみられた。

【課題】

実験の結果を分析して解釈し、規則性を見いだして適切に表現する力を育成すること。

《問題例②》

9 (略)

- (5) YさんとZさんは、次の [] のような会話をした。YさんとZさんの発言が、実験の結果と合うように、[い]、[う] に入る適切な語句を、下の1～4から1つ選び、それぞれ記号で書きなさい。

Zさん： 実験前にYさんが考えていたとおり、金属の性質は、金属の種類によって異なっているといえるね。

Yさん： そうだね。[実験1]の結果から、同じ面積で同じ厚さの3種類の金属のうち、銅は、[い] ことがわかったよ。

Zさん： [実験2]の結果からは、同じ体積で同じ温度の3種類の金属のうち、鉄は、[う] こともわかったね。

(略)

正答 [い] 2 [う] 3

【解答の状況】

[い] を「2」、[う] を「1」や「4」とするなど、[実験1]の結果を科学的に考察することはできているものの、[実験2]の意味を適切に捉えることができている解答や、結果を科学的に考察することができていない解答が多くみられた。

【課題】

実験の結果を踏まえて仮説の妥当性を検討したり、実験の結果を科学的に考察したりする力を育成すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 科学の基本的な概念の形成を図る学習活動の充実

自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えさせるなど、科学の基本的な概念の形成を図る。

○ 観察、実験を中心に、探究の過程を通じた学習活動の充実

自然の事物・現象に進んで関わり、課題を見だし見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析して解釈するなど、探究の過程を通じた学習活動をより一層重視する。その際、話し合いなどの言語活動を充実させ、観察、実験で得られた結果を互いに共有するとともに、対話を通して多面的に考察し、表現する場面を設定する。

○ 知識及び技能を日常生活の様々な場面に活用する力の育成

身近な自然の事物・現象を授業で取り上げ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させるとともに、観察、実験などの体験的な活動を通して、理科の学習で得た知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。

英 語

1 出題の特徴

- 日常的な話題に関する対話などを聞いて、概要を捉える力、適切に応答する力、必要な情報を聞き取る力をみる問題を出題した。
- 対話文や物語など、まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみる問題を出題した。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で書いて伝える力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題は、よくできていたが、必要な情報を聞き取る力をみる問題は、いま一歩であった。また、聞いた内容について応答する力を見る問題は、必ずしも十分とはいえなかった。
- まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみる問題は、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で書いて伝える力をみる問題は、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5

〈問題文及び【グラフ】は省略。【原稿】は一部省略〉

【原稿】

It's hot in summer especially in these months, so I'm sure many people like to eat cold food. Then, the spending on ice cream decreases from August to November.

However, the spending increases in December and decreases again in January. That's interesting. That means (B) is not the only reason to eat ice cream.

(2) 下線部(B)に入る最も適切なものを、次の1~4から選び、記号で答えなさい。

1 hot weather

2 variety of ice cream

3 cold season

4 changes in life

正答 1

【解答の状況】

寒い12月に、アイスクリームについての支出が増えていることに関する見解が読み取れておらず、「3」を選択した解答が多くみられた。

【課題】

日常的な話題に関する文章を読んで、概要や必要な情報を捉えること。

《問題例②》

- 6 次は、KentaとALTのSmith先生との授業中の対話の一部である。あなたがKentaならば、来日したばかりのSmith先生に何を伝えるか。対話文を読んで、にSmith先生に伝えることを書きなさい。ただし、下の【注意】に従って書くこと。〈【対話文】は一部省略〉

【対話文】

Ms. Smith: OK. What can I enjoy when I go out in autumn?

Kenta:

Ms. Smith: Thank you. I'm looking forward to going out in autumn in Japan!

正答例 You can enjoy taking pictures on a mountain. In autumn, many trees on a mountain become colorful. Yellow and red trees are very beautiful, so you can take good pictures.

【解答の状況】

“You can enjoy～”を使って、秋に楽しめることを紹介することはおおむねできていた。一方で、“yakiimo”や“matsuri”のような日本語のローマ字表記を、英語の説明なしに使用するなど、日本語の理解の程度が分からない相手に対して、伝わりづらい表現となっているものも多くみられた。また、内容的なまとまりに課題がみられる解答も多くみられた。

【課題】

目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、書いて伝えること。

4 今後の学習指導に向けて

○ コミュニケーションを支える基本的な表現や文法事項の確実な定着

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行う際には、それを支える基本的な表現や文法事項について、繰り返し使用する活動を行うなど、相互を効果的に関連付けることで定着を図るようにする。

○ まとまりのある文章を読んで概要や要点を捉える力の育成

一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとられることなく、大まかな内容を読み取ったり、文章から複数の情報を取り出し、どの情報が最も重要であるかを判断したりする活動を取り入れることで、文章の概要や要点を捉える力が身に付くようにする。

○ 自分の考えを整理し、まとまりのある内容を伝える力の育成

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチ原稿を書く」などの活動の中で、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話したり書いたりする力を育成する。